

コロナ病棟では患者様の不安や孤独に配慮した取り組みを日々行っています。
現在、入院患者様の殆どが高齢者です。持病を持ち重症化するリスクが高く、寝たきりや認知症の方が多い状況です。
認知症の患者様は急激な環境の変化によって、興奮や落ち着きがなくなる等の症状が出やすくなります。
少しでも穏やかな気持ちで過ごして頂けるように、気分転換やリラックスできる環境作りを努めています。



みんなで集まってお食事します。



このようにガラス越しにお話もされます

通常の面会は制限を行っていますが、感染対策の工夫を行いガラス越しでの面会やタブレットを使用したオンライン面会を採り入れています。

来院が難しい家族様とは電話で患者様の様子を伝える等して配慮しています。家族様は実際に患者様の顔を見て話せる事で安心し、患者様も家族様の顔や声をきく事で気持ちも落ち着き精神的な影響が大きい事を実感します。

感染対策を徹底しながら今後も工夫してコミュニケーションの機会を設ける事が出来るよう続けていきたいと思えます。